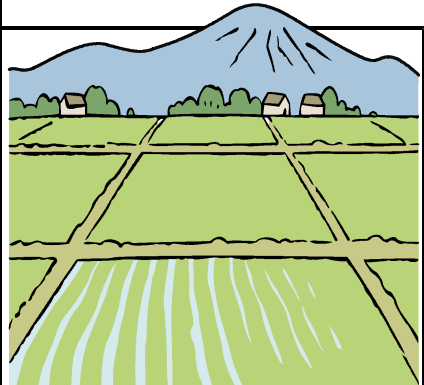


『人間性を育む』

校長 木村明彦



暦はもう6月になりました。時候の挨拶には、「初夏」「向夏」等『夏』の文字が用いられる季節となりましたが、気温は中々上昇してくれず、肌寒い日が続いています。今後は、北海道らしい爽やかな夏に期待したいところです。(昨年のような猛暑は勘弁ですが…)保護者・地域の皆様におかれましては、体調に留意され、健康にお過ごしいただきたいと思います。

さて、私事ですが、先日携帯電話を新しい機種に変更しました。というのも、現代社会に少しでも追いつかねばと思い、無謀にも、タブレットとともに、様々な事に挑戦しようと思ったのです。善は急げ、都市部の携帯ショップへ、いそいそと出かけました。若い店員さんが対応してくれ、「タブレット等と併用したいので、通信容量無制限のプランに変更したいのですが」と私が話すと、『プラン変更だけではなく、携帯そのものも新しいものに変えた方がいいですね。』続けて、『それがまっとうな買い方です。』『?』さらにお勧めという機種を紹介され、「携帯電話というのは高価なんですね。」に対しては、『これで高いといったら、何も買えませんよ。』『…。』『まっとう』『何も買えない』という話しぶりではあるものの、悪気のないことは、表情から見て取れます。きっと、お勧めの契約が、その後の利用にスムーズで、使いやすいということを伝えたかったのだろうと思い、お勧め通り契約をしてきたのですが、でも、どこか釈然としません。「言葉の選びかた」もそうですが、それ以前に、『相手意識』、つまり、相手がどう感じとるのかという思いに至らずに、話をしてるのだろう、そう感じました。確かに、相手を尊重しながらも、自分の意思を的確に伝えるということは、とても難しいことです。また、短期間で身につく力でもありません。では、どのようにして身につくものなのでしょうか。

学校では、1年生から6年生まで、発達段階の異なる子どもたちが、毎日、友だちと遊んだり、学習したり、時にはけんかもしながら、学校生活を送っています。その友だちとの関わりの中で、子どもたちは友だちの優しさに触れ、「相手意識」が芽生え始めます。そして、自分も友だちに優しくしよう意識することで、相手を思いやる優しさが育まれていきます。でも、少しずつ、少しずつです。日々積み重ねを継続して、成長を続けていきます。今学校では、子どもたちが毎日一生懸命運動会の練習に励んでいます。特に大きな行事は、子どもたちの心を成長させる絶好の機会と捉えています。転んだ友だちに手を差し出したり、たとえ負けても相手チームに賞賛の拍手を送ったりという光景も、その一つです。小さな出来事の積み重ねは、ゆくゆくは、子どもたちの「心」を、「人間性」を大きく育み、将来の豊かな人生へと結びついていくはず。運動会後の、一皮向けた子どもたちの姿が今から楽しみです。



本年度の重点目標 主体的・対話的に学ぶ力の育成～意欲溢れる優しい子～



大自然に囲まれた学び舎にふさわしい「きもべつの子」を共に育てましょう!

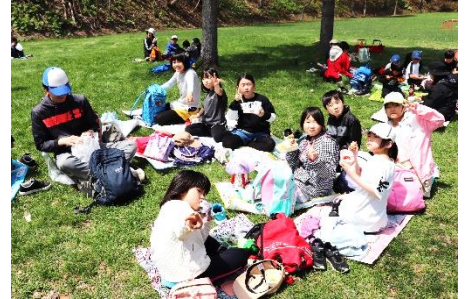


鈴川小学校との遠足

来年統合となる鈴川小学校とは、本校の学校生活や集団に慣れてもらうため、今年度内に8回の合同学習が予定されています。5/10の遠足は、第1回目となりました。鈴川小学校の児童にとっては、ウサパラ号で登校し、郷の駅から学校坂道を登って登校することも、ちょっとした遠足のように感じられたかもしれません。

晴天の下、低学年は3km、中学年は5km、高学年は10kmの道のりを歩き、全校で京極のふきだし公園を目指しました。昼食は、全校児童の顔が見える距離で座り、おうちの方が作ってくれた美味しいお弁当を食べました。

昼食後は、縦割り班に分かれ、ドッチビー（ドッチボールのボールをフリスビーに変えた遊び）やおにごっこで楽しく遊びました。学年や学校の枠を超え、笑顔がたくさん見られた1日となりました。



ゲストティーチャーを迎えて

「総合的な学習の時間」を中心に、地域の方々に町のことをたくさん教えていただいています。喜茂別町で育つ子ども達が、自分たちの住んでいる町のことを知り、理解を深めたり自分たちにできることを考えたりできるような機会をつくっていただいています。



3年生は、5月1日にヌブプリ寒別川で現地学習がありました。1メートルを超える真っ赤な大きなオスを見ることができました。



5年生は、JAの方に喜茂別の産業である農業のことについて教えていただきました。



6年生は「喜茂別町民SHOW」の番組を作成するために、クレードルの取材に行きました。

役場の税務課の方を講師にお招きし、税金について学びました。ゴミ収集も消防の出動も学校に通えることも全て税金でまかなわれていることを教えていただきました。喜茂別町の小学生1人に年間50万円の税金を使っていることに子ども達も驚いていました。

環境整備等 PTA 活動のご協力 ありがとうございます

グラウンドの水はけを改善するために、前田さん・河田さん・山田さんに重機を入れ、整備をしていただきました。



今までは雨天翌日になると大きな水たまりができていたグラウンドが、見違えるように吸水性がよくなりました。また、PTAの方々のご協力をいただき、石拾いの作業も終え、安心して運動会ができる環境が整えられました。

また、畑おこしや遊具の設置などでもご協力いただき、子ども達は取り付けていただいた遊具で遊んだり、学級で育てる野菜を植え付けたりと楽しそうに活動できています。お忙しい中ご協力いただいた皆様方、本当にありがとうございました。

運動会当日の運営につきましても、たくさんの方々からご協力をいただけるとの回答をいただきました。改めて皆様のご協力に感謝申し上げます。